

KENPO
DAYORI

健保だより

西武健保ホームページからもご覧になれます。http://www.seibu-kenpo.or.jp

No.1003

2015.1.13

西武健康保険組合



『ジェネリック医薬品』利用のお願いをお配りいたします。

西武健保では、1月22日（木）以降、病院や薬局などから受け取る診療報酬明細書（レセプト）の中から、ジェネリック医薬品を使うと薬代を減らせる見込みのある方に『ジェネリック医薬品』利用のお願いをお配りいたします。

ぜひこの機会に、『ジェネリック医薬品』利用のお願いが届いた方はもちろん、届かない方も、ジェネリック医薬品への切り替えにご理解・ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

今回は、“昨年の9月に処方されたお薬にどのようなジェネリック医薬品があるのか”、そして“それを利用すると薬代をどれくらい減らせるのか”についてご案内しております。普段、服用している薬をジェネリック医薬品に切り替えていただくことで、皆さま一人ひとりの薬代の負担が減り、ご家庭での医療費の節約に役立つだけでなく、西武健保の医療費の節約にもつながります。



ふう～ん、一石二鳥なんだね！



「安い」だけじゃない、「安心」して使える薬。「ジェネリック医薬品」とは??

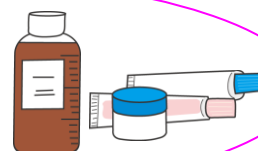
今では多くの人々が一度はその名前を耳にしたことがある「ジェネリック医薬品」。ずばり、**新薬（先発医薬品）**と同じ効能のある**“後発医薬品”**のことです。

医療機関などで処方される薬の多くは「新薬」と呼ばれるもので、研究開発に長い年月とばく大なコストがかかるため、開発したメーカーの独占的な製造・販売が特許により保護され（特許期間は20～25年）、価格も高く設定されています。この特許期間が切れたあとに、

新薬と同じ有効成分でつくられる薬が「ジェネリック医薬品」です。現在、製造・販売されているジェネリック医薬品は、国の厳格な審査を受け、承認されたものですので、安心して使うことができます。



ジェネリック医薬品は、内服薬だけじゃなくて、外用薬や点眼薬、注射薬などもあるんだよ！



ジェネリック医薬品にすると、どのくらい安くなるの??

慢性病などで長期間薬を服用する人は、節約額も大きくなる傾向にあります。
また、花粉症などのように症状が出る期間が限られている病気や、短期間の服用でも使われる薬の価格が高く、その薬に切り替え可能なジェネリック医薬品がある場合は、薬代の合計額はかなり減らせるといわれています。

たとえば・・・

脂質異常症の薬（1日1錠、1年間服用した場合）

先発医薬品	ジェネリック医薬品
リポバス 20mg 錠 163,447 円 (49,034 円)	シンバスタチン 20mg 錠 44,311 円 (13,293 円)



1年で119,136円安い
3割負担では35,741円安い

※先発医薬品と、もっとも安いジェネリック医薬品を比較しました。（同じ種類の薬でも、メーカーごとに価格が異なります。）

※金額は薬代のみです。このほか薬局には調剤料、調剤基本料などを支払います。

※カッコ内の金額が患者さんの自己負担額（3割負担の場合）です。

（薬価は2014年4月1日のものです）

ジェネリック医薬品に切り替えるには??

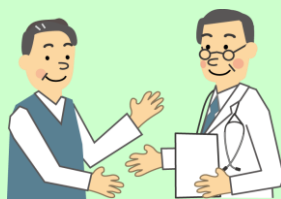
医療機関の受付で

“ジェネリック医薬品希望シール”を貼付した保険証を提示するか、口頭でジェネリック医薬品を希望することを伝えてください。

※“ジェネリック医薬品希望シール”が必要な方は、会社担当者まで申し出てください。

診察のときに

医師から医薬品の説明を受けるときや、診察の際に、ジェネリック医薬品を希望することを伝えてください。



調剤薬局で

処方せんの「変更不可」欄に「✓」または「×」がなければ、ジェネリック医薬品に変更することができますので、薬剤師に相談してみてください。



今、服用している薬にジェネリック医薬品があるかどうか知りたいときは??

西武健保のホームページ（<http://www.seibu-kenpo.or.jp/>）のトップページに『くすり検索』機能があり、キーワード欄に服用している薬の名称を入力して検索キーをクリックすると、結果一覧が出てきます。メーカーや包装コードなどから該当する薬の詳細ボタンをクリックすると、その薬が新薬なのかジェネリック医薬品なのかが分かり、新薬であれば、どんなジェネリック医薬品があるのか調べることができます。

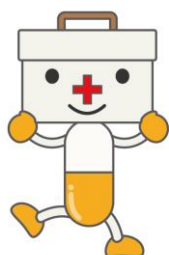
また、その薬の海外での評価や、妊娠時服用の安全性などについても調べることができます。

（パスワード：seibu）



西武健保の薬代はどのくらいかかっているの??

2011年度は**13億5,659万円**、2012年度は**12億9,834万円**、2013年度は**13億2,530万円**と、医薬品にかかった金額は毎年ほぼ医療費総額の約2割を占めています。しかしながら、これまで皆さまからご協力いただいた結果、ジェネリック医薬品の利用率は年々右肩上がりを示し、現在では処方されているお薬の4割近くがジェネリック医薬品です。今回、『ジェネリック医薬品』利用のお願いをお送りする方が全員ジェネリック医薬品に切り替えた場合は、年間になると個人負担分が約1,300万円、健保負担分が約3,000万円、合計4,300万円もの医療費が削減できることになります。



「安全・安心」「安価」「(切り替えが)簡単」と三拍子そろったジェネリック医薬品。積極的に活用し、薬代を減らそうね!

ジェネリック医薬品に変更するときは、医師や薬剤師に相談を!

症状や薬の種類によっては、ジェネリック医薬品が使えないこともあります。まずは医師や薬剤師に相談し、必ずその指示に従ってください。



ま と め

ジェネリック医薬品は…

- 成分・効き目が新薬と同じです
- さまざまな品質試験をクリアしている薬なので安心です
- 開発コストが少ないぶん、安い薬です
- 新薬よりも改良が進んでいる場合もあります

ジェネリック医薬品に切り替えていただくことが、個人や健保組合全体の医療費の節約や有効利用につながり、ひいては誰もがいつでも安心して医療を受けられる医療保険制度を守り続けることにもつながっていきます。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

